

# 国語科学習指導案

指導者 金子 礼明  
場 所 犢橋中学校  
学 級 3 年 B 組

## 1 単元名

千葉市のパンフレットを作ろう。(3年)

## 2 単元の目標

- (1) 自分の伝えたい事柄について、様々な資料から文章を集め、まとめようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 集めた資料を整理しながら、伝えたい事柄を精選し、文章の構成を工夫することができる。  
(書くこと)
- (3) 集めた文章や資料などを適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、相手の立場や考えに配慮したパンフレットを編集することができる。  
(書くこと)
- (4) 編集した文章を読み返し、自分の伝えたい事柄が効果的に伝わるよう、全体の構成を見直したり、見出しの工夫をしたりして、文章の体裁を整えることができる。  
(書くこと)
- (5) 相手の立場や考えに配慮するために読み手を想定して、言葉を適切に使って書くことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- (6) 文書の見出しや本文等に応じて、書体を使い分けたり筆記用具を工夫したりして整えた文字を書くことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書 く 能 力	言語についての知識・理解・技能
①自分の紹介したい千葉市の場所について、様々な資料から文章を集め、パンフレットにまとめようとしている。	①千葉市に関する資料を整理しながら、伝えたい事柄を精選し、文章の構成を工夫している。(ア) ②自分の伝えたい千葉市に関する文章や資料などを適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、相手の立場や考えに配慮したパンフレットを編集している。(イ) ③編集した文章を読み返し、自分の伝えたい千葉市について効果的に伝わるよう、全体の構成の見直しや、見出しの工夫をしたりして、文章の体裁を整えている。(ウ)	①千葉市のことを知らない先生方のことを想定して、言葉を適切に使って書いている。 (イ(ア)) ②パンフレットの見出しや本文等に応じて、書体の使い分けや筆記用具の工夫をして整えた字を書いている。(ア)

## 4 単元について

### (1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

全国からやってくる先生方のために、千葉市を紹介するパンフレットを作る。

(関連：言語活動イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。)

本単元では、全国から千葉市にやってくる先生方のために、千葉市に関する様々な資料を集めて伝えたい事柄を編集して、千葉市のよいところをアピールする「千葉市手作りパンフレット」を作成するという言語活動を行う。2～4人の小グループを作り、千葉市のよいところをアピールするパンフレットを様々な資料から編集し、作成する。故郷について知り、学ぶことの大切さも言われている中で、故郷千葉市について学ぶ学習活動を踏まえながら、今回の言語活動を設定した。

今回の活動では、全国から千葉市にやってくる先生方に千葉市のよいところを知ってもらうという目標達成のために、千葉市に関する様々な資料から取材を繰り返し、資料から伝えたいと考えられる文章を抜粋などして編集を行う。修学旅行で学習を深めた3年生は、自身の班別学習の計画を立てる際に、ハンドブック等で計画をした経験をもつ。その中で使いやすい文章の資料、わかりやすい文章の資料等を読んだ経験ももっていることから、千葉市のアピールをするパンフレットを作成することに関して、生徒が興味をもって取り組めるのではないかと考えた。

今回の「書くこと」の言語活動を支える事柄として、相手意識と目的意識がある。相手意識を、「全国から千葉市に来る先生方」を対象とし、目的意識を「千葉市のよいところをアピールするため」とすることで、相手意識をはっきりさせ、目的意識をもたせることができると考えた。

### (2) 単元で身につけさせたい力

目的に応じ、相手の立場や考えに配慮して、取材から伝えたい事柄を整理し、文章の構成を工夫して、相手に効果的に書いて伝える力。

自分が伝えたいことを相手にしっかりと伝えるために、論理の展開を工夫しながら文章を書く力をつけることは、説得力のある文章を書く力が必要となる実生活では大切である。しかし、その際、どうしても自分の立場や思惑を重視することに傾倒してしまい、たとえ相手を説得する文章を書くことができたとしても、その内容を相手が心から受け止めてくれているとは限らない。このことは、目的意識がはっきりとしているものの、相手意識は単なる対象としてのみ考えられ、人と人が関わる実生活において必要な、相手のことを考えた相手意識にはなっていないと考えている。

そこで、相手を意識するということを、相手の立場や考えに配慮することを意識させるものにとらえたい。そうとらえることで、説得するための単なる対象ではなく、相手を心から受け入れてもらえる対象として意識できるのではないかと考えた。本単元では、全国からやってくる先生方を対象とすることで、千葉市のことを全く知らない、千葉市の良さを知らないままに帰ってしまう恐れのある人に対してといった相手の立場や考えを配慮することが可能になる。

さらに、目的をはっきりさせ、相手意識を明確にしたとしても、自分の伝えたい事柄が整理できず、ただ事実を並べただけで伝えてしまうことがある。例えば、伝えたい事柄を多くの資料から発見できたとしても、その理解が深まらないままに書き写すのみで済まされていることがある。

そこで、相手に伝えるためには、まずその内容をしっかりと理解しておく必要がある。そのために、様々な資料から取材を繰り返す活動を行わせることで、必要な情報を取り出して相手に伝えたい事柄を整理することができるようになるのではないかと考えた。本単元では、千葉市に関する様々な資料を数多く用意することで、取材を繰り返し行えるようにした。さらにパンフレットという形にすることで、伝えられる文量を限定することとした。そうすることで、取材を繰り返し行った中で得られた情報を、厳選するために自分で理解を深めなければいけなくなる。伝えられる文量を限定したことで、構成の工夫も必要となるのである。

本単元において、もう一つ心がけた活動がある。それは、編集の仕方について、実際にある様々

なパンフレットから自ら学ぶということである。このことは、資料を読む中で、優れている、身につけたいと思った書き方を、資料から学んで実際に書いて自分の力とする、実生活で応用したい力を取り入れたものである。

## 5 生徒の実態

国語の学習に対し、意欲的に取り組むことができる。今回の学習に関する取り組みの一端として、1年時には、読書紹介カードを作成する学習を行った。これは自分がこれまでの読書活動の中で、紹介したい本を選び、カードに表すものである。生徒は、書きたい、話したいといった、表現したい気持ちが旺盛であり、意欲的に取り組み、カードを作成することができた。カードには、本のあらすじを書いたり、文章の抜粋したものを書いたり、イラストを描いたりしている。しかし、あまり書くことは得意ではなく、本の内容の中心となるところが欠けている生徒がみられた。ふだんの授業において、書くことを厭わない生徒を育成できるよう、書く活動を多く取り入れている。今回の学習は、伝えたい内容を編集する活動を行うため、生徒たちには効果的であると考えられる。

## 6 単元の指導計画（全6時間扱い 本時5時間目）

次	時	学 習 活 動	指導や支援の手立て ◇評価
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しをもつ。</li> <li>○課題の把握と言語活動の確認 (相手意識・目的意識)</li> <li>○「千葉市のよいところ」について、自分の伝えたい事柄を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な物を示して見通しをもたせる。</li> <li>・自分が伝えたい「千葉市のよいところ」について情報を収集していくことを確認する。</li> <li>◇「千葉市手作りパンフレット作り」に興味をもち、進んで伝えたい事柄について考えようとしているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">「関心・意欲・態度」①</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな資料を用いて、相手の立場や考えに配慮し、効果的に伝える文章の書き方について学習する。 (編集の工夫を見つけて、自分の参考にする)</li> </ul> <p>&lt;考えるポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような形式のパンフレットが分かりやすいか。</li> <li>・知りたい内容はどのような内容か。</li> <li>・読みやすいパンフレットはどのような言葉遣いや編集をしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料の提示によって、学習の幅を広げ、効果的に伝わる文章の構成の仕方（編集の仕方）や書き方、言葉遣い等について考えさせる。</li> <li>・生徒に提示する資料は、他市の紹介パンフレットを用意する。また、形式等も自由に考えられるように、様々な種類を用意する。</li> </ul> <p>◇様々な資料から、自分なりの効果的に伝わる文章の書き方等について考えようとしているか。</p> <p style="text-align: right;">「関心・意欲・態度」①</p> <p>◇様々な資料を読みながら、効果的に伝わる書き方や文章構成、編集の仕方等について、自分なりの考えをもつことができる。「書くこと」①</p>

2	3 4	<p>○千葉県パンフレットの作成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な千葉市の観光資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄を整理し、編集する活動。</li> </ul> <p>&lt;パンフレット作成について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ構成は2～4人。</li> <li>・取り上げたい千葉市のよいところは、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光案内のような場所</li> <li>②自分たちしか知らないようなレアな場所</li> </ul> </li> <li>・カラーで発行したい、手直しができるという点から、コンピュータで作成する。(今回の市教研ではコンピュータ指導、費用の面から行わない。)</li> <li>※手書きのカラーコピーで発行。</li> <li>・写真やタイトル、構成、文の書体等もパンフレット作成で気をつけたいところ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい事柄が何かをはっきりさせるように考えさせる。</li> <li>・前時に学習した効果的に伝わる書き方について意識しながら編集するように気をつけさせる。</li> </ul> <p>◇千葉市に関する資料を整理しながら、伝えたい事柄を精選し、文章の構成を考えているか。「書くこと」①</p> <p>◇自分の伝えたい千葉市に関する文章や資料などを適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、相手の立場や考えに配慮したパンフレットを編集しているか。「書くこと」②</p> <p>◇千葉市のことを知らない先生方のことを想定して、言葉を適切に使って書いているか。 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」①</p>
3	5 本時	<p>○作成したパンフレットを授業参観する先生方に読んでもらい、質疑応答する。</p> <p>○グループごとの経過報告、資料の再考。(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答の中で、伝えたい事柄のさらなる整理をする。</li> </ul> <p>◇作成したパンフレットを先生方に見てもらい、質疑応答をする中で、自分の伝えたい事柄が効果的に伝わる方法について考えようとしている。 「関心・意欲・態度」①</p> <p>◇パンフレットを用いて質疑応答を行う中で、相手のことを配慮した書き方について考えることができる。 「書くこと」②</p> <p>◇編集した文章を読み返し、自分の伝えたい事柄が効果的に伝わるための書き方について考えることができる。 「書くこと」③</p>
	6	<p>○前時を生かして、パンフレットの手直し。作品提示。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に考えた効果的に伝わる書き方について振り返り、パンフレットを完成させるよう指示する。</li> </ul> <p>◇質疑応答で気がついたこと、文章を読み返して考えたことを生かして、文章を構成することができたか。 「書くこと」③</p> <p>◇効果的に伝わるパンフレットにふさわしい言葉遣いや書体等を考えて字</p>

			を書いているか。 「伝統的な言語文化と国語の特質に 関する事項」②
--	--	--	---

授業計画（含 行事）

5 / 20 (火) 市教研	6 / 3 ~ 5 3年修学旅行	6 / 17 (火) 授業⑤ 本時
27 (火) 授業①	9 (月) 授業③	
30 (金) 1年校外学習	12 (木) 定期テスト	
6 / 2 (月) 授業②	16 (月) 授業④	

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- 作成したパンフレットを先生方に見てもらい、質疑応答をする中で、自分の伝えたい事柄が効果的に伝わる方法について考えようとしている。 (関心・意欲・態度)
- パンフレットを用いて質疑応答を行う中で、相手のことを配慮した書き方について考えることができる。 (書くこと)
- 編集した文章を読み返し、自分の伝えたい事柄が効果的に伝わるための書き方について考えることができる。 (書くこと)

(2) 本時の学習活動

- 作成したパンフレットを実際に読んでもらい、質疑応答をする中で、伝えたい事柄が効果的に伝わるためには、編集の仕方や文章の書き方、言葉遣い等をどのようにしたらよいかを考える。

(3) 本時の展開

時	学 習 活 動	指導や支援の手立て (◇評価)
5	○作成したパンフレットを見ながら、本時の学習の目的をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             質疑応答を通して、パンフレット完成に向けて考えよう。           </div> ○本時の学習の流れを確認する。	○グループごとに作成したパンフレットの準備。質疑応答メモ用の付箋。  ○パンフレットを読んでもらい、質疑応答をする中で、効果的に伝えられる書き方について考え、パンフレットの完成に向けての手立てをつかむ。
20	○作成したパンフレットをもとにしたの質疑応答 ①先生方にパンフレットを渡して読んでいただく。 ②パンフレットの内容に関して、質問を受ける。 ③質問された内容に関して、回答をする。 ④質疑応答を繰り返す。 <グループ内での役割分担> ・質疑応答の内容をメモする。 ・回答するために資料で調べる。 ・資料に付箋をつける。	○グループで作成したパンフレットについて、担当した以外の文章についても読んでおくようにする。 ○役割分担を確認させる。 ○質疑応答をする際、資料のどこの文章を用いたのかを明確にする。 ○文章構成の際に必要なので、資料に付箋をはらせるようにする。

15	<p>○質疑応答を行い、パンフレットのどの部分が足りなかったのかを確認し、直したらいいこと（内容、構成、言葉遣い、見やすさ）をグループで考える。</p> <p>○各グループで話題になったパンフレットの改善点を発表する。        &lt;発表すること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答を通して、直したらいい視点について。</li> <li>・質疑応答を通して、気づいた点。</li> </ul>	<p>○パンフレットで足りなかった部分は、どういことが足りなかったのかを整理できるようにする。        視点：内容、構成、言葉遣い、見やすさ</p> <p>○パンフレットを指し示しながら発表できるよう、カメラの準備をしておく。</p> <p>○各グループのパンフレットの仕上げに必要なところをメモする。</p> <p>○自分たちのグループのパンフレット完成に向けて生かせるところがあるかどうかを考えさせながら発表を聞かせる。</p>
10	<p>○学習の振り返りと、次時の学習についての見通しをもつ。</p>	<p>○パンフレットの仕上げをどのように行いたいかをグループで話し合わせる。</p>

#### (4) 資料

##### ○学びの資料

- ・「時 薫るまち 川越」小江戸川越観光協会
- ・「はまっぷジャン！ようこそ！！発祥の地横浜へ！！」横浜観光コンベンション・ビューロー
- ・「千葉市 都市緑化植物園」千葉市みどりの協会
- ・「千葉市内の観光農園」千葉市園芸協会
- ・「千葉市立加曾利貝塚博物館」
- ・「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」

##### ○作成参考資料

- ・「千葉とっておき」千葉市観光協会発行のオフィシャルガイドブック
- ・「千葉市観光ガイド」
- ・「千葉ベイエリアガイドマップ」
- ・「千葉県観光マップ」
- ・「千葉市立郷土博物館」2種
- ・「千葉市動物公園ガイドマップ」
- ・「アクアリンクちば」
- ・「千葉ポートタワー」
- ・「千葉市科学館」